

九州北部税理士会と連携した金融機関向けセミナーの開催

- ◆ 知財活用型事業性評価と事業承継をテーマに、九州北部税理士会や日本政策金融公庫と連携し、「金融機関向け地域活性化セミナー」を開催。
- ◆ 本セミナーが金融機関と税理士との連携強化の契機となることで、地域経済の活性化や事業承継推進が期待される。

概要

- ◆ 近年、経営者の高齢化と後継者不足に起因する中小企業等の休廃業が社会問題となり、今後、地域経済を支える中小企業の「知財」の喪失が危惧されている。
- ◆ 地域経済を維持、発展させるためには、金融機関と中小企業の顧問税理士との連携を強化する必要があると考え、本セミナーの開催に取り組んだ。

セミナー内容

- セミナーは三部構成とし、第一部では、特許庁事業「中小企業等知財金融促進事業」を受託している三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)知的財産コンサルティング室の主任研究員から「地域金融機関における知財を切り口とした企業価値向上に向けた提案について」を講演。
- 第二部では、先ず九州北部税理士会から「事業承継を成功させる手順について」と題し、税理士の視点から、親族或いは親族以外に事業承継する際の問題点などについて、また、日本政策金融公庫からは、「事業承継・事業再生に対する融資事例」について講演。
- 第三部では、主任研究員から税理士会及び公庫の担当者への質疑応答のほか、会場参加者との質疑応答も行った。

取組の成果

- ◆ より多くの金融機関の担当者に集ってもらうため、福岡(平成31年2月5日)、佐賀(2月15日)、長崎(2月25日)の各県に分けて開催し、九州北部税理士会及び日本政策金融公庫の講演は県毎の担当者が登壇したこともあり、金融機関等の担当者計90名が参加。



(福岡会場)



(佐賀会場)



(長崎会場)

- ◆ セミナー後のアンケートには、「J-PlatPatの情報や経営者・開発者へのアプローチ方法など大変役に立つ」、「税理士の実務を通して得た事業承継のアプローチ方法を聞いて良かった」、「融資事例を踏まえて、公庫との連携も検討していきたい」といった声が寄せられ、8割超の参加者から「(大変)役に立った」との回答を得た。また、セミナー終了後には、講師と名刺交換を行うなど、連携強化の契機となった。

G20福岡開催を契機とした地域連携の深化



- 日本初開催となるG20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議を契機に、福岡市など地域の各機関との連携を構築・深化。地域の目標であるG20福岡の開催・成功に向けて、地域一体での取組となるよう橋渡しに尽力。
- 開催機運醸成のため、若年層を含む福岡市民を対象に金融経済特別授業等を実施したほか、今後の福岡市における大規模国際会議誘致に向け、G20福岡閉会後に各関係者を一堂に会した振り返りフォーラムを企画。

概要

- 今年6月に開催されるG20福岡を通じた世界への「福岡」の認知度向上・魅力発信に向け、自治体や経済界など地元一体で取り組む機運を醸成。
- 当局ではG20福岡を地域連携推進の最大の好機と捉え、招致元の福岡市など地域の各機関との連携を構築・深化させ、G20福岡の成功に向け、地域一体での取組となるよう橋渡しに尽力。
- 開催機運醸成に向け、地域経済の将来を担う福岡市内の小・中・高へG20をテーマとした金融経済特別授業、高校生向けに財務省から講師を招請した特別講演等のほか、金融関連シンポジウムを順次開催。
- 今後の福岡市における大規模国際会議誘致に向けた取組として、G20福岡閉会後に各関係者を一堂に会した振り返りフォーラムを企画。G20福岡を通じて得た課題等を議論予定。



1/15 関係者連絡会
(県・市・県警・日銀福岡支店・当局)



2/20 特別講演
(福岡市立福岡高校)



3/12 金融関連シンポジウム
(一般層向け)

取組の成果

- 金融経済特別授業【平成31年3～5月】
福岡市内の小学校7、中学校2、高校1校でG20、世界経済及び為替変動についての授業を展開。
- 特別講演・パネルディスカッション【平成31年2月20日】
福岡市立福岡高校での講演等に、財務省からG20担当者を招請。
- 財務局オープン講座【平成31年2月12日】
県内外の大学生向けに金融リテラシーを題材にG20福岡を紹介する「財政・金融ワークショップ」を実施。
- 金融関連シンポジウム【平成31年3月12日】
国際金融や、フィンテック等金融仲介機能の発揮に関するシンポジウムを開催。
- G20福岡振り返りフォーラム【6月予定】
G20福岡の振り返りを通して、今後の福岡への大規模国際会議誘致に向けた課題を、地域の機関を交えて議論する場を創出。



金融特別授業

◆ 各機関との橋渡しや開催機運醸成に向けた取組等により、今後とも地域における連携を深化していくもの。

G20福岡開催機運醸成に向けた小・中学生向け金融経済特別授業

- ・ 地域での開催機運醸成に向けて、為替変動をテーマに金融リテラシー向上のための特別授業を実施。
- ・ 福岡市・日本銀行福岡支店/福岡県金融広報委員会と協働し、小・中学生向け特別授業の内容を検討・作成。
- ・ 福岡市との関係構築、日銀等との連携強化に繋がり、今後の地域連携・広報活動の基盤充実に繋がっている。

概要

- 2019年6月に日本で初開催される「G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議」に向け、招致元の福岡市では開催機運醸成のための各種イベントを企画。
- 地域経済の将来を担う小・中学生向けに金融リテラシー向上を図るための特別授業を福岡財務支局・日本銀行福岡支店/福岡県金融広報委員会、福岡市と協働し、企画・実施。
- G20を身近に感じ開催意義を考える機会とするため、買い物・為替変動をテーマにアクティブラーニング教材を作成。市が推進するキャッシュレス（QRコード）の要素も取り入れた。
- 上記ノウハウを活用し、今後福岡県と協働のうえ、高校生に向けた授業を実施予定。



【小学生向け（日銀福岡支店作成）】



【中学生向け（当局作成）】

取組の成果

【中学校】

平成31年3月15日

福岡市立 吉塚中学校144名(中2)

平成31年3月20日

福岡市立 当仁中学校（178名(中2)、145名(中1)）



3/15 吉塚中

【小学校】

市内の7校(小6)で4~5月に実施予定：合計675名
(玉川・鳥飼・美和台・舞鶴・春吉・壱岐東・長丘)



【高校】

平成31年5月（予定） 福岡県立城南高校（400名） 3/20 当仁中

- 生徒からは、自分たちの生活と世界とのつながりや、為替が生活へ及ぼす影響、キャッシュレスやG20への理解に繋がったとの声があったほか、学校からは、学習が苦手な生徒も一緒に楽しみながら、高い関心を持ち続けた状態での授業となったため、非常に高い効果があったとの評価。
- 今回作成の教材は、当局が培ってきた財政教育プログラムのノウハウを最大限に活用。福岡県金融広報委員会のアドバイザー（小学校校長経験者等）から高い評価を受け、同委員会は、今後の教材として検討予定。